

令和4年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会議事要旨

1 開催日時

令和5年2月16日(木)

開会 午後1時30分

閉会 午後2時50分

2 開催場所

尾張旭市学校給食センター 食育指導室

3 出席委員

委員長 浅野謙一

副委員長 砂川弘美

委員 宇理須厚雄、山平誠、谷口洋祐、溝口博基、加藤江利加、奥本真由、
玉木香織、関岡敦子、小高京子、堀江志衣、尾関仁 13名

4 欠席委員

井田寿、塚腰幸子 2名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

教育部長 三浦明、所長 松原友雄、係長 森永久美 技師 高橋雅大、

栄養教諭 曾根規容子、栄養教諭 佐藤彩、栄養教諭 大澤綾奈

7 議題等

(1) あいさつ

(2) 報告事項

ア 令和4年度学校給食実施報告について

イ 令和4年度学校給食センター食育事業(4月~12月)について

ウ 令和5年度学校給食センター食育事業について

エ 令和5年度学校給食センター食育事業計画について

(3) その他

献立表のデジタル化の試行の検証結果について

8 会議の要旨

浅野委員長	<p>定刻となりましたので、令和4年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会を始めたいと思います。</p> <p>本日の会議につきましては、東栄小学校の井田委員、白鳳小学校PTA塚腰委員から都合により欠席のご連絡をいただいておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本委員会は成立しております。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、教育部長より御挨拶をお願いします。</p>
三浦部長	(挨拶)
浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第により進めさせていただきます。</p> <p>次第2 報告事項(1)「令和4年度学校給食実施状況について」事務局より説明してください。</p>
事務局	報告事項(1)「令和4年度学校給食実施状況について」説明
浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より説明がありましたが、ただいまの報告について、御質問、御意見等はございませんか。</p>
谷口委員	(1)収入について、「学校給食費受入金」と「教職員等学校給食費受入金」の内訳を教えてください。
森永係長	<p>「学校給食費受入金」は児童生徒分の給食費で、「教職員等学校給食費受入金」は教職員分になります。「教職員等学校給食費受入金」につきまして、収入未済額が387,500円となっておりますが、12月1日時点のデータなので、調定と収入の時期のずれによるものです。教職員に基本未納はありません。</p> <p>児童生徒分の収入未済額については、納めていただけない家庭分です。</p>
松原所長	<p>以前にも説明をさせていただきましたが、昨年度11月分から市の直接徴収になりまして、今までの学校の先生を通じて徴収していた時よりも、未納が増えている状況です。事務局と学校教育課と協力して納付してもらえるようお願いしたり、就学援助を受けている方の徴収方法を来年度から変更予定をしていたり、いろいろ工夫をしているところです。</p>
谷口委員	徴収する場所が、現場である学校から離れたことで、きめ細かな対応ができなくなり、徴収金額が少し減ってしまったということでしょうか。
松原所長	<p>そうです。学校の先生から直接連絡が来た方が、保護者も「払わない」と意識が高くなる方も多いと思いますが、市の直接徴収となると心理的にも距離が生じてしまうので、そこが課題になっております。</p>
谷口委員	ありがとうございました。

	「教職員等学校給食費受入金」の収入未済額が1番気になったところでして、たまたま時期的に数字が入っていますが、実際は0ということですよね。
森永係長	そうです。
谷口委員	資料の作り方としてあまり良くないと思いました。
溝口委員	子ども達は残菜量について、知っているのでしょうか。
森永係長	学校ごとの残菜量は開示しておりませんが、学期ごとに配布している給食だよりの2学期号で残菜について取り上げております。毎日1人当たり小学校で50g、中学校で60g、だいたいコロッケ1個分残していますよ、とお便りの中でお伝えしております。
溝口委員	配膳量等で細かな調整をしていただき、残菜が減ったら良いなと思いました。
浅野委員長	旭中学校の残菜量が多いですが、これも集計の仕方次第で、中学校だと全学年のA、Bクラスだけを量り平均を出しており、8クラスの学年もありその中の2クラスだけで学校全体の残菜量になるかと言え、違うと思いますし、小学校では、2、5年生の全クラスを量っており、学年によっても残菜量は変わってきますので、この数字だけを見て判断はできないと思います。たまたま量った2クラスが多かったということもあると思います。ただ、(7)の表から残菜量が多いということはわかりますので、給食主任者や給食委員会で改善できるように取り組んでおります。昔のように「残すな」というような指導はできないので、子どもが「残す」と言ったら、教員は「わかりました」というような状況なので、そこが今後の課題です。 他に何かご質問等ございませんか。
加藤委員	守山区だとお弁当か給食かを選べるような状況ですが、尾張旭市は基本給食じゃないですか。息子の場合、全く足りないみたいで、よくおかわりをしておりますが、人気のメニュー日とかはおかわりができないので、不足分を家から持っていくのは、学校として良いのか悪いのかを教えてください。
浅野委員長	指導や管理が難しいので、残念ながら学校としてはできません。家に帰ってからおやつを食べてもらうしかないです。
加藤委員	わかりました。
浅野委員長	他に何かご質問等ございませんか。 それでは、次の報告事項2「令和4年度学校給食センター食育事業（4月～12月）について」事務局より説明をお願いします。
事務局	報告事項2「令和4年度学校給食センター食育事業（4月～12月）について」説明

浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より説明がありましたが、ただいまの報告について、御質問、御意見等はございませんか。</p> <p>だいぶコロナも落ち着いて日常が戻ってきている気がします。</p> <p>続いて、協議事項1「令和5年度学校給食センター事業計画について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	協議事項1「令和5年度学校給食センター事業計画について」説明
浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より説明がありましたが、ただいまの報告について、御質問、御意見等はございませんか。</p>
宇理須委員	<p>12ページの地産地消のところについて、尾張旭市は地産地消としていちじくが給食でありますが、処方されるときに、未摂取の場合には提供しないというルールがありますが、いちじくを未摂取のお子さんは多いです。</p> <p>その場合の対応の参考として、給食に出るいちじくの形状と量について教えてください。</p>
曾根栄養教諭	<p>生のまま出せないなので、ジャムに加工して、サバ等にかける甘辛いいちじくソースとして給食で提供しています。ジャムにする段階で1回火を通しており、給食センターでもソースにする段階で火を通してあるので、2回火が通ってます。</p> <p>量については、1人当たり10gくらいです。</p>
宇理須委員	いちじくを加工したものがどこかに売っていますか。これを食べたら学校でのいちじくも食べられるよ、と言えるような物があると良いですね。
曾根栄養教諭	いちじく率が少し低いかもしれませんが、スーパーでもいちじくジャムは売っています。
宇理須委員	自分で作らないといけないと大変ですが、いちじくそのものを何g食べられたら大丈夫、加工したのなら何g食べられたら大丈夫というような基準があったら良いですね。
曾根栄養教諭	入学前に練習しておきたいですね。給食だと1回で10gくらい出しております。ただ、特注なので市販の物よりはいちじく率は高めです。
宇理須委員	市販のいちじくジャムだと20gくらい食べれば大丈夫ということですね。
曾根栄養教諭	そうなりますね。
松原所長	尾張旭市内で採りたいいちじくを使用したジャムは、尾張旭駅近くのグリーンシティビル1階にある尾張旭まち案内という観光協会が運営して

	いるお店で買えます。ここの物が給食で使用するジャムに1番近いと思われる。
加藤委員	いちじくについて未摂取にしていたら、給食では提供されないということですか。アレルギーが出なければ大丈夫ですか。
宇理須委員	そういうことではなく、いちじくに対して未摂取ということは、アレルギーの有無がわからないので、指導表を出す場合には除去になります。
浅野委員長	尾張旭市の特産品いちじく、給食ではジャムで出ることが多いみたいですが、ゼリーとかはなかったですか。
曾根栄養教諭	少し前にジャムを使用したゼリーを出したことはあります。
浅野委員長	小学校だと3年生くらいでジャム作りがあるので、給食以外でも気を付けなければいけないと思いました。 他に何かご質問等ございませんか。
谷口委員	1回目の会議の際に、給食費改定についてお話が出ていたと思いますが、先ほどのお話だと令和5年度はこのまま据え置きということですか。最近食材も相当高騰していると思いますが、運営委員としては今の事業計画のまま問題なしでよろしかったでしょうか。
松原所長	今年度については臨時交付金にて対応しましたが、来年度につきましては、公式な発表がまだなので、詳しくは話せませんが、資料にありますとおり収入より支出の方が多くなっている予算ですので、同じ給食費で問題ありません。令和6年度以降につきましては、来年度の状況をみながら考えて行きたいと思います。みなさんの任期は今年の6月までですので、それまでにもう一度集まっていただきご協議をいただくことはないと思います。
谷口委員	最近、卵の価格がかつてないほど上がっていますので、上手にやりくりをお願いいたします。
小高委員	アレルギー対応給食について、卵と乳のアレルギー対応給食はあるということですが、小麦のアレルギーは今後対応していただけるのでしょうか。
曾根栄養教諭	お家から代わりものを持ってきていただくという対応をしております。給食のどこに小麦が使われているのかがわかる書類を配布しております。事前に学校と保護者とで食べられない物をチェックして、その日はお家から持ってきてもらう対応をしています。
小高委員	ありがとうございました。
浅野委員長	他に何かご質問等ございませんか。 それでは、協議事項1「令和5年度学校給食センター事業計画について」承認される方は挙手をお願い致します。

委員	(全員挙手)
浅野委員長	<p>全員挙手ということで承認させていただきます。</p> <p>続いて協議事項2「令和5年度学校給食センター食育事業計画について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	協議事項2「令和5年度学校給食センター食育事業計画について」説明
浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より説明がありましたが、ただいまの報告について、御質問、御意見等はございませんか。</p> <p>給食センターの食育事業に関係ないかもしれませんが、コロナの関係で給食を食べるときは、みんな前を向いて食べており、以前のようにグループで楽しく食べることができない状況が、この3年間当たり前になっており、会話をしながら食べるという食育からも遠ざかっております。</p> <p>しかし、昨今そんな状況が緩和される方向に動いており、コロナも5類へ引下げ等の話も出てきております。ゆくゆくは以前のようにみんなで会話をしながらの楽しい給食に戻っていけると良いなと思います。</p> <p>コロナの前はPTAの方たちが試食会を行ったり、子ども達の給食の様子を見に来たりという会もありましたが、ここ3年間はできなくなってしまい、子ども達がどんな給食を食べているのか、どんな様子で食べているのか見ることができない状況だったので、こういった会も元通り開催できると良いなと思います。令和5年の途中位から変わってくる可能性がありますので、変わった段階で給食センターの方から提案をしていただけると学校としては助かります。</p>
溝口委員	外部講師による食に関する講演会では、どういった方がお見えになりますか。
松原所長	今の段階ではまだ決まっておりませんが、例年ですと管理栄養士養成の学科を持っている大学の教授に来ていただくことが多いです。
溝口委員	食材が高騰したり、食材が入ってこなかったり、そういった話がありまして、それは食料自給率の話にもなってくると思いますが、そういう話を外部講師にお願いしたりはしないのでしょうか。
松原所長	打合せの段階で要望できると思いますので、今後そういった話も含めてお願いできるよう調整をしたいと思います。
溝口委員	ぜひそういったことも視野に入れていただきたいなと思います。
浅野委員長	<p>他に何かご質問等ございませんか。</p> <p>それでは、協議事項2「令和5年度学校給食センター食育事業計画について」承認される方は挙手をお願い致します。</p>
委員	(全員挙手)

浅野委員長	<p>全員挙手ということで承認させていただきます。</p> <p>続いて4 その他「献立表のデジタル課の試行の検証結果について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	4 その他「献立表のデジタル課の試行の検証結果について」説明
浅野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より説明がありました。ただいまの報告について、御質問、御意見等はございませんか。</p>
加藤委員	<p>献立表の印字が小さく、文字の色を青色で見づらいので、そのまま捨ててしまうことが多い。私はアプリでも良いと思っていて、その場合は字の色を黒くしてほしい。</p>
松原所長	<p>献立名はゴシック体で、主な材料と働きの部分は明朝体で確かに見づらいです。</p> <p>ホームページに掲載している献立表は黒文字になっておりますので、ご面倒をおかけしますが、そちらを見ていただければと思います。文字が青色になった経緯は、把握できていませんが、少しでもカラフルにしたい思いがあったと推測いたします。</p>
浅野委員長	<p>そもそもデジタル化を行うことによって、趣旨にも記載してある印刷製本費はどのくらい削減できるのでしょうか。削減できる金額によって、多少の不便を受け入れるのか否かが決まってくる。</p> <p>学校での仕分けや配布作業が不用になり、学校業務の効率化及び多忙解消へとつなげることが期待できる、と記載してあるということは学校から献立表を配るのが面倒等の意見が出たということですか。</p>
松原所長	<p>献立表単独で煩雑という意味ではなく、市役所から学校へ配布依頼している物が多いので、他課でも配信に置き換わってきている状況であり、給食センターとしても配信に変更し負担を減らせたらという思いです。献立表の配布が面倒という意見があったということではございません。</p>
宇理須委員	<p>献立表は子どもに配って、子どもが親に持っていくのですか。</p>
浅野委員長	<p>そうです。</p>
三浦部長	<p>観点として、保護者の利便性の向上と経費の削減もあるかと思います。</p>
浅野委員長	<p>学校としてもアレルギーのこともあるので、紙の献立表の方が、教室に貼ったり等でき、確認しやすい。デジタル化した場合には、先生の手元に献立表がないのはどうなのか。なぜ今回の試行を行ったのか疑問です。</p>
宇理須委員	<p>デジタル化を行った場合には、献立表は親のスマホに送られるのですか。</p>
浅野委員長	<p>そうです。</p>
宇理須委員	<p>お父さん、お母さんの携帯1台ごとに配信されるのですか。</p>
加藤委員	<p>子ども1人につきお父さん、お母さん、家族でも登録できます。</p>

浅野委員長	<p>学校からのお便りやお知らせを配信できるH&Sというシステムがあります。このH&Sに、スマホを持っていない方以外のほとんどの保護者が登録しており、すぐに連絡ができるので便利です。月1回配るだけの献立表を配信するのはどうのかなと思います。ツール自体はあるので、新たに開発する必要はないです。</p>
宇理須委員	<p>私は両方やった方が良いと思います。</p> <p>紙の献立表を無くすことは、メリットよりもデメリットの方が大きいのではないかと思います。</p> <p>デジタル化することでどのくらい経費削減になるのかは気になります。</p>
加藤委員	<p>P T Aでも給食以外の作業でアプリを利用できませんかと投げかけましたが、アプリを見ている人には便利だけど、実際には、見ていない人の方が多いので、紙配布をやめれない、という返答がきました。ですから、アプリだけになってしまうと見ない人が多いと思います。</p>
関岡委員	<p>小学生と中学生の子どもがいて、子どもが持って帰ってきた献立表を冷蔵庫に貼ってはいますが、見たとしても月に1回とかなので、我が家にとってはデジタルで良いです。</p> <p>子どもがぱっと見れないという意見がありましたが、教室に1枚貼ったりすればいいのかなと思います。ただ、アレルギーがあるお子さんの親は紙の方が良いとは思いますが、学校のお便り等もデジタル化して紙の削減になりますが、私自身、配信されても未読ばかりで興味のあるものしか読んでいません。それは紙であっても同じだと思います。興味のない物は結局ゴミ箱いきになります。</p>
宇理須委員	<p>食物アレルギーの子ども親は、献立表を見て、自分の子どもが食べられない物にチェックをして返しますよね。</p>
松原所長	<p>食物アレルギーがあるお子さんには、詳細な献立表をお渡しし、そちらに記入をしてもらっています。</p>
加藤委員	<p>そうなんですね。それだったら、通常の献立表から「主な材料とその働き」の欄をなくして、1か月のカレンダーみたいに大きく献立を書いてくれる方が、子どもも見やすく良いなと思います。</p>
浅野委員長	<p>学校はアレルギーのお子さんを預かっていますから、アレルギーの管理を行うときは、詳細な献立を親から提出してもらい、それを学校で確認をして、担任もそれぞれ確認をして、除去食や自己除去等いろいろなパターンアレルギーの対応をしなければいけません。それが抜けてしまうと事故に繋がり命にも関わってくるので、学校は詳細な献立表で行っています。</p> <p>小学校はどうですか。堀江校長先生。</p>

堀江委員	詳細な献立表を頂いているので、校長、教頭、担任、養護教諭、栄養教諭が同じ書類に目を通して、全員の合格がないとその月のアレルギーの子の給食を提供できません、大勢の目を通して管理を行っております。
佐藤栄養教諭	瑞鳳小学校でも、もちろん詳細な献立表を使っており、28品目だったら一覧表で確認できますが、そうでない品目、例えばいちじく、さといもであったり、基準ではない品目については一覧表には載っていません。そういったアレルギーのお子さんには、献立表を使っています。献立表の中には、加工品等も全部分解して記載してあるので、それを親御さんに確認していただいて、こちらでも、校長、教頭等に確認しています。全部の学校で行っているわけではないと思いますが、献立表も活用しています。
宇理須委員	今の話だと食物アレルギーのお子さんに渡す資料には、載っていない項目があるということですか。
佐藤栄養教諭	そうです。一覧表の中には28品目しか載ってないです。アレルギーの食材が入っているかどうかを確認するために使っています。
宇理須委員	資料として不完全な気がします。
浅野委員長	印刷製本費は実際どのくらいかかっていますか。
松原所長	年間の予算で50万円を少し超えるくらいです。
浅野委員長	先ほど賄材料費の予算が億単位と聞いているので、50万円くらいだったら、やらないといけない気がします。
堀江委員	配信される献立表は紙のものと同じですか。
松原所長	同じものです。献立表は印刷業者に印刷をしてもらっていて、その際に電子データも一緒に納品してもらっています。その電子データをホームページに掲載しています。
堀江委員	データを作る手間の問題ではなく、紙の問題ということですか。
松原所長	原案は市で作りますが、イラスト等を含めたデータは印刷業者が作成するので、その費用を含めた印刷製本費です。
堀江委員	<p>本校での献立表の活用例としては、献立表を保健室に貼って、調子の悪い子どもに対して養護教諭が、その日の献立から食べられる物を確認する際に使用しています。教室では日直が、今日の献立を読み上げる際に使用しています。お家に持って帰る大事な書類であるとともに、学校の中でも、放送委員は献立表を読み上げ食材の働きを伝えています。</p> <p>紙がなくなってしまうのはイメージがしにくく、たとえデジタル化になっても学校で印刷すると思います。</p> <p>全員が手にする必要はないかもしれませんが、紙での必要数は多少はあるので、その分だけでもいただきたいです。紙かデジタルかのどちらかではなく、折衷案もあるのではないかと思います。</p>
溝口委員	とりあえずデジタルと紙の両方をやって、どこかの1か月だけデジタ

	ル化のみやってみるのはどうですか。その結果から、今後の対応を検討したら良いのではないのでしょうか。ひとまず、進めないことには答えは出てこないと思います。
浅野委員長	それを試行で行ったのですよね。
松原所長	デジタルと紙は試行で行いましたが、スマホをお持ちでない方にご不便をおかけすると思い、紙配布はやめてはいません。
浅野委員長	アンケート結果を見ると、便利と回答した人は30%ないです。今挙げたメリットを考えると、デジタル化に変えるのは難しいと思います。 みんな納得の便利さで、50万円削減できるのならいいけど、そうでないなら、50万円かかっても便利さを取った方が良いでしょう。 学校によって配る枚数を変更するのはかえって手間になってしまう。
松原所長	発行部数が減ると単価が上がってしまうので、思ったほどの削減にはならない可能性があります。
浅野委員長	たくさんの意見をいただきましたので、今後また検討していくということですかね。
松原所長	はい。ありがとうございました。
浅野委員長	他に何か言い残したことはありませんか。
宇理須委員	今の話とは関係ありませんが、先ほどの食物アレルギーのお子さんの未摂取の問題ですが、親が書類に未摂取と記入していても、本人は学校の給食で食べていることが多いです。給食で何を食べているのか知らない親が結構多いです。何が言いたいかというと、献立表をしっかりと見るような指導をしていただくと、子どもの未摂取食品でチェックが入ることが減ると思います。見たらわかるかもしれませんが、給食で提供される食材の一覧や、給食に提供されない食材の一覧を親に渡すことはできないのでしょうか。名古屋市の保育課は給食で使われている食材がわかる指導表が出るので、主治医も何を食べていて何を食べていないのかがわかる。 献立を見る指導をいただいたり、食材の一覧表を作っただけではないのでしょうか。
事務局	検討いたします。
浅野委員長	他に何かご質問等ございませんか。 最後に、事務局からお願いします。
事務局	もう1つその他でお願いします。次第2で報告しましたように、学校給食センターでは、食育推進講演会や施設見学等の様々な食育事業を行っています。更なる食育事業の活性化を図るために、新たな食育事業の企画、また既存の食育事業の運営方法等について、委員の皆様のご意見等がありましたらお願いします。

溝口委員	<p>企画的な話でいえば、先ほど申し上げた通り、食料自給率などの話を講師の方にしてもうことや、最近ヨーロッパではコオロギが食用になっているので、そのうち日本にも入ってくると思いますし、前回お話をさせていただいた、遺伝子組み換え食品についても、ゲノム編集トマトが市場に出回っているので、そういった食に関する勉強会があったら良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>検討いたします。</p> <p>皆様の運営委員としての任期は6月30日までです。特段の協議事項がない限り、運営委員会へのご出席は、本日が最終日となる予定です。給食センターでは、何よりも食の安全を大切に、衛生面には十分注意して給食を提供してまいりますので、皆様には、今後も、学校給食を温かく、時には厳しく見守っていただければ幸いです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
浅野委員長	<p>長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。</p>